せせらぎ三島ロータリークラブ
Seseragi-Mishima Rotary Club

SESERAGI－MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週　報

2026～2027年度　RI会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ
RIテーマ　CREATE LASTING IMPACT

クラブテーマ「関わるすべての皆様と　夢、喜び、心からの感謝　の共鳴」
会長 小島　真　　幹事　藤川智徳

第1653回 例会

2026.10. 16(金)晴

司会：　高橋大輔君
ロータリーソング「日も風も星も」 指揮：宮澤友一君

事務所　三島市泉町9－8　1F南
TEL.055－976－6351 FAX.055－976－6352
http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp
せせらぎ三島ロータリークラブ　検索
例会場　呉竹
TEL.055－975-3210
毎週金曜日　第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長　小島　真君

皆さんこんばんは。
本日は、ロータリーの友10月号から、クラブの居心地を良くするための三つの秘訣よりロータリー会員増強コーディネーター若林英博さんの記事を紹介いたします。

心のコップがあふれる前に
まるで、ざるに水を注ぐがごとく、毎年多くの仲間が退会していく。会員増強と会員維持は両輪、とは言うものの、むなしさが募っていく。どうしたらこの現象を止められるのか。一人ひとりにとって居心地良いクラブになればストップできるだろうが、そんな万能薬はない。
私は講演で、退会をコップの水に例えている。誰もが心に一つのコップを持ち、そこには日々のストレス、名付けてストレ水がたまる。気持ちの良い例会、親しい友と会う喜び、奉仕を通して得られる心からの満足感、これで水位は下がる。一方、クラブで無視される、仲間がいない、期待していたロータリーではないなどの理由で水位は増え続ける。最後の一滴があふれて心が折れる。そして退会へ。
みんなは最後の一滴だけを見て、それが退会理由だと勘違いする。違う違う。今までたまったストレ水こそ見るべきだ。たまっていた時間に長短はあるけれど、周りに気付いてほしかった。居心地の良いクラブであるために本人はもちろん、お互いに心を配り愛情を込めて接してほしい。
今後、ざるからこぼれる会員を一人でも出さないために。

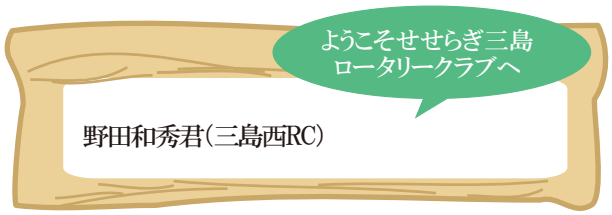
当クラブではこの様な事案はないと思いますが、メンバー一人ひとりが互いに尊重しあい、認め合う。その様な関係性は非常に重要だと思います。これは、ロータリー活動のみならず、仕事においても、家庭においても同じではないでしょうか。
そんなことを感じながら、会長挨拶とさせていただきます。

出｜席｜報｜告｜

	出席総数	出　席　率	メークアップ	修正出席率
前々回	35/44	79．55%	38/44	86．36%
今　回	31/44	70．45%	会員総数	44名

欠　席　者　あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、加藤(貴)君、兼子君、小林君、佐野君、杉山君、
鈴木(祥)君、服部君、藤川君、三輪君、山田君、吉村君、渡邉君



スマイルボックス

菅野裕紀君：10月11日RLI初参加させていただきました。大変勉強になりました。
田村康晃君：先週の米山記念館の清掃にご協力頂き、まことにありがとうございました。米山さん、早くに来て枝葉のカットして頂きありがとうございました。感謝のスマイルです。
矢岸貞夫君：先週、社会奉仕委員会の事業として行われた米山記念館清掃作業ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
野村諒子君：米山記念館の奉仕作業お疲れ様でした。11月7日上岩崎公園秋まつりがあります。ボランティアしてくださる方はよろしくお願いします。60店舗出ますので、お客さんで参加もよろしく。三輪建設さんと、芹澤さんのホーム・ドクターも出店します。

卓話

勝又陽介君



皆さま、こんにちは。本日は、このような機会をいただき、ありがとうございます。初めての卓話ですので、私自身のこれまでの歩みを振り返りながら、仕事と社会奉仕についてお話ししたいと思います。私は以前、銀行に勤めておりました。特に印象に残っているのは、30歳くらいから約4年間勤務したローンセンターでの経験です。当時はほぼ休みなく深夜まで働くことも珍しくありませんでした。人生で最も仕事に打ち込んだ時期であり、銀行内に4つあったローンセンターの中で融資実行額が1番になったこともあります。その時代に大変お世話になったのが、現在、同じロータリークラブでご一緒している仲原さんと田村さんです。特に仲原さんには本当にお世話になりました。ほぼ毎日のように仲原さんの会社、フィールズコーポレーションに伺い、昼食までいただいていました。時には、現在は閉業してしまった日帰り温泉「百笑いの湯」に連れて行っていただき、2時間もマッサージを受けたこともあります。さらに、サッカーの日本対北朝鮮戦を北朝鮮サポーター側で観戦したことも、忘れられない思い出です。詳しい話は今日は控えますが（笑）、それほど多くの思い出があり、仕事以外でも本当にお世話になりました。当時は、目の前の仕事に必死でしたが、今振り返ると、成績だけでなく人とのご縁という大きな財産を得た時期だったと感じています。仲原さん、田村さんには、この場を借りて改めて感謝申し上げます。また、中村先生にはプライベートでのご縁がありました。長男出産時です。初めての出産で不安な妻に、今と変わらない優しい口調で声をかけてくださり、私も妻も安心したことを覚えています。その節はありがとうございました。その後、私は建設業に携わるようになりました。銀行と建設業では仕事の内容は大きく異なりますが、どちらにも共通するのは「信用」の大切さです。約束を守り、誠実に仕事に取り組み、相手との信頼関係を築くことが、仕事の基本だと感じています。私は、社会奉仕も日々の仕事と無関係ではないと思っています。自分の仕事に誠実に取り組むこと、従業員を大切にすること、地域の課題に関心を持ち、自分にできることを実行すること。こうした積み重ねも、社会への貢献につながるのではないでしょうか。ロータリークラブにはさまざまな経験や知識を持つ方々が集まっています。皆さまとの交流を通じて学び、自分の仕事で培った経験を地域のために生かしていきたいと思っています。仕事も人生も、自分一人の力で成り立つものではありません。周囲の方々に支えられ、多くのご縁をいただいて今の自分があります。だからこそ、感謝の気持ちを忘れず、今度は自分が誰かの役に立てる人間になりたいと思います。これからも建設業を通じて地域社会を支えるとともに、ロータリークラブの一員として、自分に何ができるのかを考え、行動していきたいと思います。

米山奨学生世話クラブ カウンセラー研修会



１０月４日　米山梅吉記念館
髙橋麻子カウンセラー参加

古着deワクチン事業報告



野村諒子君

ティリさん英会話教室



